


CDP
The Constitutional
Democratic
Party of Japan

2024.10.9 号外

立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅ビル7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088
goiken@cp-japan.net
<http://cdp-japan.jp/>

2024年10月9日党首討論にて



本当に自民党は
責任をとったのか。
本当に自民党は
変わったのか。

✓ 本当に自民党は責任をとったのか。

裏金疑惑をかけられた議員は、誠心誠意説明を尽くすことが最低限の責務です。しかし、政治倫理審査会で再三出席を求めても、回答は「説明の必要なし」。世論に追い詰められ、ようやく派閥の元幹部が出席の意向を示すも、「テレビカメラは入れないでほしい」「記者たちの

同席は認めないでほしい」など、およそ積極的な姿勢はみられませんでした。結果、数名の議員が弁明したものの、何を聞かれても「覚えていない」「事務局長に任せていた」「秘書が行ったこと」と逃げ続け、説明責任は全く果たされませんでした。

✓ 本当に自民党は変わったのか。

総選挙に際し、石破総理は裏金議員の一部を非公認とするなど、「厳しい対応を下した」と胸を張っています。本当に自民党は変わったのでしょうか。そもそも、なぜ裏金議員全員を非公認としないのでしょうか。もとより裏金議員に下された党の判断の甘さは驚くべきも

ので、裏金額が500万円以下であれば処分すら受けていません。これは、5年間のうち500万円までの裏金を、自民党として許容するということです。そして、選挙となれば何事もなかったかのように公認してしまうのが、自民党のやり方です。

✓ いまこそ選挙でケジメをつける。

先の国会では、皆さんの声を背負って自民党と向き合ったものの、我々だけでは自民党の驕りを正すことはできませんでした。だからこそ、直接ケジメをつけさせるという大きな意義を持っています。この選挙で政治不信にきっぱ

りと決着をつけ、国会に緊張感を取り戻しましょう。これからの日本を引っ張っていく強い政治をつくりあげるために、立憲民主党は先頭に立って頑張ってまいります。

立憲民主党 代表 野田佳彦

政治不信に 決着をつける。



立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan